

2012年9月6日

関係各位

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議

議長 野田 起一郎

公益社団法人 日本産科婦人科学会

理事長 小西 郁生

公益社団法人 日本産婦人科医会

会長 寺尾 俊彦

特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会

理事長 嘉村 敏治

公益財団法人 日本対がん協会

会長 垣添 忠生

子宮頸がん予防ワクチン本年度公費助成対象者への  
9月末までの第一回接種周知のお願い

当5団体は、専門家、啓発団体、市民団体の枠を超えて協力し、子宮頸がんによって女性の幸せと命が奪われることがないように、あらゆる人に子宮頸がんについての正しい知識を提供し、子宮頸がんワクチン接種や子宮頸がん検診を実践することにより子宮頸がんを征圧することを目指し様々な活動を行っております。

さて、一昨年度より公費助成が開始された子宮頸がん予防ワクチンの接種率は、多くの関係する方々のご尽力の結果70%弱の接種率が達成できたと伺っております。しかし一方では、周知の徹底不足あるいは誤解などにより、約100万人余の対象者が未接種であるという状況にあります。

上記に加え、一部報道にありましたように、本ワクチンの定期接種化は現在実現に関して不透明な状況にあり、さらに代替となる次年度以降の公費助成についても現行の対象学年に対して同等の助成が実現するか否かについても不明な状況であります。

かかる状況に鑑み、接種対象女兒に公平な接種を実現し、子宮頸がん征圧を実現するために、関係の皆様には現況をご周知いただき、さらなるワクチン接種推進へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

つきましては関係各位に下記のお願いをいたしたいと存じます。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お願いしたいこと

本年度の公費助成対象未接種者は、本年9月末までに第一回目の接種を受けないと、年度内（来年3月末）に3回接種が公費助成のもとで終了できません。

ワクチンと検診でほぼ100パーセント予防できることになった子宮頸がんから、子どもたちの未来を守るために、この機会を逃さないでいただきたいと思っております。保護者・対象女子・教育関係者・保健指導関係者・地方行政へ、どうか本情報を発信していただけるよう、お願いいたします。